

決 算 報 告 書

第 18 期 事 業 年 度

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

国立大学法人東京学芸大学

令和3年度 決算報告書

国立大学法人東京学芸大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	8,042	8,042	—	
施設整備費補助金	899	941	41	(注1)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	123	396	272	(注2)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	45	45	—	
自己収入	3,600	3,485	△ 114	
授業料、入学料及び検定料収入	3,405	3,195	△ 210	(注3)
附属病院収入	—	—	—	
財産処分収入	5	5	—	
雑収入	189	285	95	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	411	515	103	(注5)
引当金取崩	—	2	2	(注6)
長期借入金収入	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	294	870	576	(注7)
出資金	—	—	—	
計	13,418	14,300	881	
支出				
業務費	11,937	12,136	198	
教育研究経費	11,937	12,136	198	(注8)
診療経費	—	—	—	
施設整備費	944	986	41	(注9)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	123	238	114	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	411	473	61	(注11)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	—	—	—	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	—	—	
計	13,418	13,834	416	
収入-支出	—	465	465	

○予算と決算の差異について

(注1) 予算段階では予定していなかった施設整備費補助金が年度途中に採択されたため、予算額に比して決算額が41百万円多額となっております。

(注2) 予算段階では予定していなかった補助金収入の増加により、予算額に比して決算額が272百万円多額となっております。

(注3) 授業料免除額等の増加及び検定料収入が予算段階で積算した額より減収であったため、予算額に比して決算額が210百万円少額となっております。

(注4) 科学研究費等補助金の間接経費及びその他手数料の受入れ等により、予算額に比して決算額が95百万円多額となっております。

(注5) 予算段階では予定していなかった受託事業の収入の増加等により、予算額に比して決算額が103百万円多額となっております。

(注6) 予算段階では予定していなかった賞与引当金取崩により、予算額に比して決算額が2百万円多額となっております。

(注7) 予算段階では承認されていなかった目的積立金が承認されたことにより、予算額に比して決算額が576百万円多額となっております。

(注8) 予算段階では予定していなかった人件費の増加等により、予算額に比して決算額が198百万円多額となっております。

(注9) (注1) に示した理由等により、予算額に比して決算額が41百万円多額となっております。

(注10) (注2) に示した理由等により、予算額に比して決算額が114百万円多額となっております。

(注11) (注5) に示した理由等により、予算額に比して決算額が61百万円多額となっております。